

# 東かがわ市「ゼロカーボンシティ」宣言

地球温暖化が原因とされる異常気象は、昨今の集中豪雨や台風の大型化による自然災害の増加をはじめ、我々の身近な生活環境に様々な影響をもたらし、「気候危機」とも言われる世界的に深刻な問題となっています。

国連では、地球温暖化に対応するため、「産業革命前からの平均気温上昇を2℃未満とし、1.5℃に抑えるよう努力する」とするパリ協定が2015年に合意されました。また、IPCCは、この目標を達成するためには、「2050年までにCO2の実質排出量をゼロにすることが必要」との報告書を2018年にまとめています。さらに、気候変動への対策は、持続可能な開発目標（SDGs）における17の目標の中にも掲げられています。

2020年、政府は「2050年までに国内の温室ガス排出量を実質ゼロにする」との表明を行い、国内各自治体におきましても、脱炭素に向けた動きが急速に進んでいます。そうした中、本市としましても、国際社会の一員として脱炭素社会の実現に向けた取組みを共に推し進めていかなければなりません。

本市の豊かな自然や特色ある産業・文化を未来の世代に引き継ぎ、安全に安心して、いつまでも住み続けられるまちの実現に向け、市民や事業者の皆さんと共に、本市における二酸化炭素の排出量を2050年までに実質ゼロとすることを目指し、挑戦することを宣言します。

2021年3月1日

東かがわ市長 上村 一郎

